

地方独立行政法人大阪産業技術研究所

令和元事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課

法人の毎事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法の規定に基づき、知事（設立団体の長）の評価を受けることとなり、令和2年8月19日開催の評価委員会の意見も踏まえ、大阪市長と協議の上、令和元事業年度の業務実績の評価を決定した。

全体評価「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

○大項目評価

以下の5つの大項目で、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。

○評価コメント

法人において、多様化・高度化する企業の技術課題やニーズに対応するため、技術支援、支援研究及び人材の育成等に積極的に取り組んで企業の課題を解決するとともに、「NEDO先進・革新蓄電池材料評価技術開発（第2期）事業」の推進や「経済産業省戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」などの先進的なプロジェクト研究の実施を高く評価した。引き続き、和泉及び森の宮センターの優れた技術力や強みを融合して技術支援や研究開発に取り組むとともに、顧客満足度の向上や新たなサービスの拡充に努め、研究開発から製造までの一気通貫の支援、利用サービスのワンストップ化など、ものづくり中小企業への支援サービスの向上に積極的に取り組んでいくことを期待する。

| | | | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|---|---|--|
| 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上 | 1 | S | A | B | C | D | 国際規格に対応した電波暗室を活用して中小企業の課題解決や技術支援等に積極的に取り組み、企業のニーズに応じた受託研究及び簡易受託研究を実施し、企業の製品開発や困難な技術的課題を解決する取組などが計画どおり進捗していると認められた。 |
| | 2 | S | A | B | C | D | 技術開発から製品開発まで支援する高度受託研究と共同研究を実施し、プレ研究制度の活用による利用者の利便向上を図るとともに、「海洋生分解性プラスチックの技術開発」研究がNEDO先導研究プログラム/エネルギー・環境新技術先導研究プログラム事業に採択されるなど、取組が計画どおり進捗していると認められた。 |
| | 3 | S | A | B | C | D | 企業が求める技術人材の育成のため、研修、大学・業界団体等との連携及び中小企業への最新3D機器の普及を図り、大阪大学産業科学研究所と連携し、AIを活用した香り・におい解析技術の確立を目指す取組などが計画どおり進捗していると認められた。 |
| 業務運営の改善及び効率化 | S | A | B | C | D | 利用サービスのワンストップ化を実現するため、利用者登録制度の安定的な運用や技術サポートセンターを活用した業務の更なる効率化の取組などが計画どおり進捗していると認められた。 | |
| 財務内容の改善及び効率化、その他業務運営に関する重要事項 | S | A | B | C | D | 事業収入の確保、財務基盤の強化と効率的な予算執行を計画的に行うとともに、個人情報保護の適正管理の取組などが計画どおり進捗していると認められた。 | |

<評価区分>

S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている
D：重大な改善事項あり